



1 計画概要

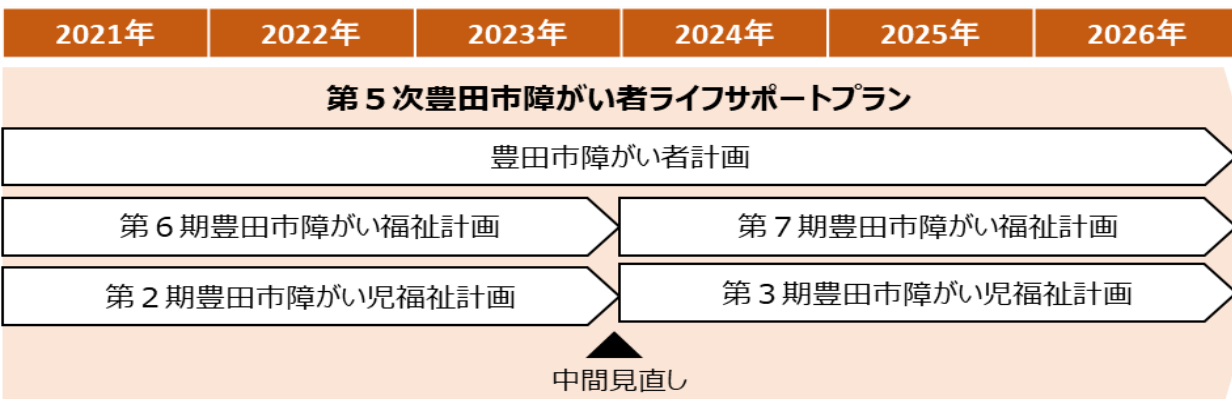
(1) 計画の位置づけ

本計画は、以下の3つの性格を併せ、障がい者ライフサポートプランとして整備

- 「障がい者計画」 根拠法：障がい者基本法第11条第3項
- 「障がい福祉計画（第6～7期）」 根拠法：障がい者総合支援法第88条第1項
- 「障がい児福祉計画（第2～3期）」 根拠法：児童福祉法第33条の20第1項

(2) 計画期間

「障がい者計画」の見直し及び障がい福祉計画並びに障がい児福祉計画の改定年度



(3) 中間見直し方針

令和5年5月19日付「障がい福祉サービス等及び障害児通所支援等の円滑な実施を確保するための基本的な指針の一部改正について（通知）」（厚生労働省、こども家庭庁）等に基づき、見直し予定。＜第5次豊田市障がい者ライフサポートプランの第5章、第6章（P53～P70）の基本指針、見込み量の数字を通知等に基づき見直す方向＞

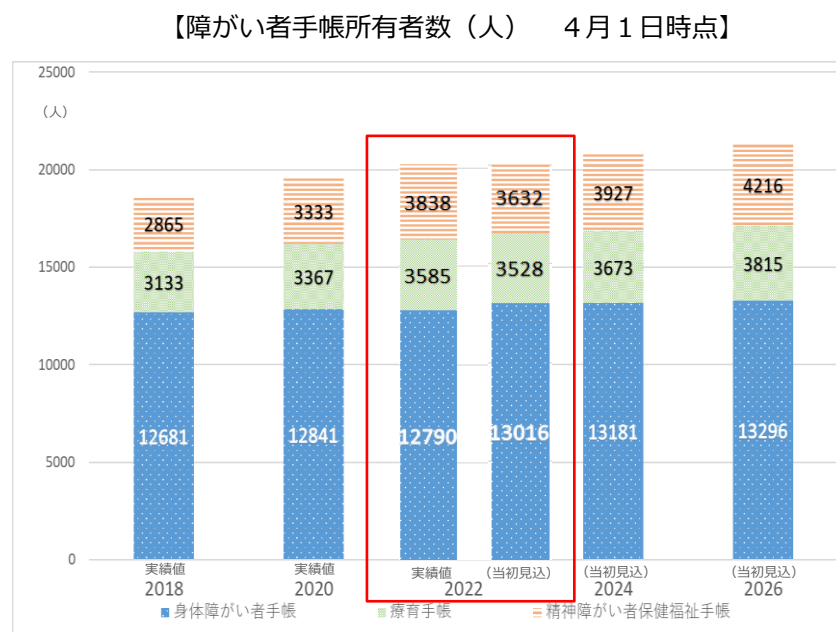
以下の計画との整合も図り見直す予定

- ・国「第5次障がい者基本計画」・愛知県「あいち障がい者福祉プラン2021-2026」
- ・市「第8次豊田市総合計画」、「豊田市地域福祉計画・地域福祉活動計画」等

(4) 障がい者数の推移

本市の障がい者手帳所持者数は、2022年（令和4年）4月1日現在で、身体障がい者手帳所持者**12,790人**、療育手帳所持者**3,585人**、精神障がい者保健福祉手帳所持者**3,838人**。障がい者（特に療育、精神）数は今後も増加していく見込み。

（2022年度～2026年度数値は、計画策定時(2020年度)見込み）



2 計画の重点施策及び実績（令和3年度、令和4年度）

分野	重点施策	成果指標	計画策定時基準値 (令和元年度)	めざす 方向	令和3年度	令和4年度	達成 状況	事業 数	○	△	△
1	理解・啓発活動の推進	障がい福祉について関心がある市民の割合 <実態調査>	53.8%	↑	—	50.4%	△	11	10	1	
2	重層的支援体制の推進	総合相談窓口への相談件数 ①実件数 ②延べ件数	① 516件 ② 1,684件	↑	①1,176件 ②4,982件	①1,107件 ②6,089件	○ ※コロナ関連の相談増	9	9		
3	相互理解の促進・意思疎通の円滑化	意思疎通に困る機会がある障がい者の割合 <実態調査>	34.0%	↓	—	39.1%	△	18	18		
4	重度障がい者の受入れの促進	1、強度行動障がいのある方の受入れを行う事業所数 (①生活介護 ②共同生活援助) 2、医療的ケアが必要な方の受入れを行う事業所数 (①生活介護 ②共同生活援助) <障がい福祉サービス等利用実績>	1、①29か所 1、②7か所 2、①12か所 2、②3か所	1 ↑ 2 ↑	1、①31か所 1、②10か所 2、①13か所 2、②3か所	1、①32か所 1、②14か所 2、①13か所 2、②4か所	○	24	24		
5	精神障がい者の地域包括ケアシステムの構築	1年以上の医療保護入院者数 <医療保護入院者定期病状報告書>	140人	↓	173人	182人	△	15	15		
6	自然災害及び感染症対策の推進	1、震災時のBCPを策定している障がい福祉サービス事業所の割合 2、風水害時のBCPを策定している障がい福祉サービス事業所の割合 <実態調査>	1、10.4% 2、7.5%	1 ↑ 2 ↑	—	1、32.3% 2、24.0%	○	7	7		
7	地域のこども園での受入体制の充実	医ケア児等をニーズに応じて受け入れた地域のこども園の数	—	ニーズに応じた受入れ	2園	3園	—	25	24	1	
8	障がい者の一般就労の促進	障がい福祉サービス等を通じて一般就労した障がい者の数	64人	↑	96人	101人	○	7	7		
9	障がい者の文化・スポーツ活動の推進	1、文化・芸術活動を行う障がい者の割合 2、スポーツ・レクリエーション活動を行う障がい者の割合 <実態調査>	—	1 ↑ 2 ↑	—	1、12.4% 2、21.6%	—	6	6		

3 各施策の実施状況＜概要＞（令和4年度）

施策分野1 まちと心のバリアフリー（重点施策）理解・啓発活動の推進

- ・心のバリアフリー推進講座＜実績：11回＞
当事者や当事者家族が講師となり、テーマ別に講座を実施（身体4回、知的3回、制度等4回）
（参考）令和3年度6回
- ・イベント等を通じた市民啓発活動＜実績：10回＞
（参考）令和3年度2回



【心のバリアフリー推進講座】



【市民啓発活動（産業フェスタ）】

※△評価：福祉学習のための資料等の貸出＜実績：0回0冊＞
令和3年度から開始し、小、中、特別支援学校向け団体貸出セットを福祉学習のために貸出（参考）令和3年度2回28冊
※学校等で行う理解啓発事業等に併せて資料の貸出可能な旨を周知

施策分野2 権利擁護・虐待防止（重点施策）重層的支援体制の推進

- ・生活困窮者自立支援事業＜実績：延べ相談件数 7,205件＞
生活困窮や社会からの孤立状態にある障がい者に対して伴走型支援を行いながら、相談による困りごとの受け止めや課題解決に向けた支援計画作成、就労準備支援や家計改善支援などを実施

施策分野3 意思疎通支援・情報保障（重点施策）相互理解の促進・意思疎通の円滑化

- ・意思疎通に関する市民向け体験講座の開催＜実績：12回＞
手話、点字、要約筆記、音訳等の体験講座を開催し、多様な意思疎通手段を学ぶことができる機会を提供
（参考）令和3年度1回



【支援ボード】



【市民向け体験講座（手話）】

- ・コミュニケーション支援ボードの活用拡大
豊田加茂医師会、豊田加茂歯科医師会、豊田加茂薬剤師会及び豊田市障がい者計画推進懇話会と連携し、作成。

施策分野4 事業所整備・運営支援（重点施策）重度障がい者の受入れの促進

- ・強度行動障がい支援者養成事業＜受講者基礎13名、実践14名＞
強度行動障がい支援者養成研修基礎研修に加え新たに実践研修を実施
専門支援員を事業所に派遣し研修を行う訪問型派遣研修、ケース支援も実施



【実践研修】

施策分野5 保健・医療（重点施策）精神障がい者の地域包括ケアシステムの構築

- ・措置入院者の退院後支援事業【支援件数】12件
措置入院者が退院後に必要な医療等の支援を継続的かつ確実に受けられ、社会復帰の促進等を行うことができるよう、退院後の支援計画を作成し、関係機関と連携して支援を実施。

施策分野6 防災・防犯（重点施策）自然災害及び感染症対策の推進

- ・事業所版BCP策定支援＜個別相談会2回実施＞
BCP策定率の向上を目指し、障がい福祉サービス等事業所向けにセミナーを開催

施策分野7 教育・保健・子育て（重点施策）地域のこども園での受入体制の充実

- ・障がい児保育＜実績：公立こども園190人、私立こども園35人、認定こども園126人＞
こども発達センターとの連携により、こども園において、障がい児保育を実施
（参考）令和3年度 公立こども園214人私立こども園31人認定こども園95人
- ・指導主事・特別支援教育アドバイザー・スクールソーシャルワーカーによる学校支援＜実績：支援校90校＞（参考）令和3年度 78校

※△評価 学級運営補助指導員・教育介護ボランティアの配置
教育介護ボランティアの配置について、4月時点で25校27人配置予定だったが、緊急事態宣言等による影響で行事が中止、23人に減少

施策分野8 就労・雇用（重点施策）障がい者の一般就労の促進

- ・障がい者就労・生活支援センターの企業訪問等による障がい者支援＜実績：4,243件＞
障がい者本人や周囲の人々からの就労に関する相談に応じ、個々の状況に適した就労支援を実施
（参考）令和3年度 4,131件

施策分野9 生涯活躍（重点施策）障がい者の文化・スポーツ活動の推進

- ・障がい者スポーツ体験会の開催＜実績：16件＞
市民の障がい者スポーツへの理解促進を図るため、スポーツ推進委員等による障がい者スポーツ体験会等を開催（参考）令和3年度 0件

4 今年度の主な取組などについて

施策分野1 まちと心のバリアフリー（重点施策）理解・啓発活動の推進

- ・イベント等を通じた市民啓発活動
障がい者差別解消法の改正内容（事業者の合理的配慮の提供の義務化等）を中心に啓発。

施策分野3 意思疎通支援・情報保障（重点施策）相互理解の促進・意思疎通の円滑化

- ・ICTを活用した意思疎通支援
障がい福祉課窓口等においてICT機器を活用した音声認識アプリの導入検討。

施策分野4 事業所整備・運営支援（重点施策）重度障がい者の受入れの促進

- ・強度行動障がい支援者養成事業
法定研修及び訪問型研修を継続し、専門的な人材の育成を図るとともに医療機関との連携を模索。

施策分野7 教育・保健・子育て（重点施策）地域のこども園での受入体制の充実

- ・小中学校における看護師の派遣
小・中学校に通う医療的ケアを必要とする児童生徒に対して、訪問看護ステーションから派遣した看護師による支援（派遣対象を宿泊を伴う行事まで拡大）